

こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2016.10.9
自宅 872-9224 高知市福井町1475-3 NO.491

米軍の訓練空域の 拡大に反対を!

県議会代表質問で追求

4日、日本共産党を代表して、各地議員が質問を行いました。その中で、政府が11月から、四国沖などに、事前申請に基づき、新しい米軍訓練空域を設定することによる県民生活への影響はどの

うなのか、反対の意思を表明すべきではないかと追求しました。尾崎知事は、岩園基地と訓練空域間は、一定の高度以上で飛行訓練をするときいている。仮し越境の飛行訓練が増加すれば、米軍に真正要請を



裁判後、記者会見をする原告団(9月30日、高知市)

“安保法制は憲法違反”

高知地裁口頭弁論 原告が意見陳述

安保法制(戦争法)によって憲法が保障する平和的生存権などが侵害され、精神的苦痛を受けたとして、高知県内の32人が国に一人当たり10万円の賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が9月30日、高知地裁(石丸将利裁判長)で開かれました。戦争経験者ら3人が意見陳述し、戦争できようだいを正しく、自身も教師として教える戦争に送ったという

川村高子さん(97)は強調。高知大空襲で母「戦争は人をモノのよと妹を亡くした岡村正に扱います。国民の意見を聞かずに強行がまた加害者になり、テロで国民が被害者になるかもしれない。絶対に許してはいけません」と語りました。

「自分の戦争体験を意見陳述し、感動、共感が伝わりました。(しんぶん「赤旗」日刊紙、10月2日付より)

川村高子さんは、元教師。教えるを戦場に送る教育に身をおいた反省の上で、平和こそ大切だと戦後歩み続けてきた方です。岡村さんは、平和資料館館長の家の館長として、戦争への道はくつ返させないと腰をすえた活動をされています。今こそ、憲法の輝きと無茶な政権のあり方を考えるために力をつくり出す時です。

米田総質問は、
10月11日(火)
10:45~11:15まで、
せみ傍聴にお出かけください。

てくてく歩記

わたしの(488)
毎日雨が多い日が続く時、台風が心配もけつから。たおはスカッと秋晴れの日にならないかなあ...と。こんな時、体調もくずしから。皆さへお気を付けてお過ごしください。

岡崎徹原告団長(66)は、自衛官だった父が「平和憲法により、あらゆる戦争の回避が可能だった」と語った言葉が心に残っていると語り、「全国の自衛隊員の家族の不安は容易に想像できます。70年の平和の歴史を壊してしまう安保法制の危うさを認識しないといけない」と指摘しました。